

所沢市は音楽のあるまちづくりを推進します



まち *press* Vol.17

March 17th 2017



♪空と君の間には～今日も音楽のまちがある～ (みんな笑顔)

雑誌「散歩の達人」の取材依頼に協力。「所沢は“音のまち”なのだ」というタイトルで、市内の音楽にまつわる話題がたくさん紹介されました。是非ご一読を！

まちなかコンサートはどこも大盛況！



▲航空公園ジャグバンド “KKJB”

今年度は所沢駅構内とこてらす、ワルツ所沢、新所沢パルコの3か所で、14回にわたって「まちなかコンサート」を開催しました。ピアノとバイオリンの女性2人組デュオ

ルトワブルー、毎月第4日曜日の午後「地味フェスティバル」を開催中の航空公園ジャグバンド、アルパ(中南米のハーブ)を駆使し幅広いジャンルを演奏する倉品真希子、ハイトーンボイスが特徴的なスズキカヒコ等が登場し、会場は大盛り上がりでした。

年末には市役所1階市民ホールにおいてオルガン奏者・梅千野安未とソプラノ歌手・澤江衣里による「音まちコンサート」を開催しました。素朴な音色と澄んだ声に、この日を楽しみにして来場された方もご満悦の様子でした。



▲左:澤江、右:梅千野

p ————— *ff* ————— *p*

音まち名盤16

a-ha『hunting high and low』(1985)

洋楽 80's の代表曲「take on me」収録。

一世風靡した魅惑のPVは今観ても珠玉。ノルウェー出身ゆえなのか難解な表現が多く、辞書を片手に格闘した③はバラードの佳曲。⑨⑩で響く北欧独特の物悲しさも魅力！



「空飛ぶ音楽祭2017」(空フェス) 開催予定

日程 2017年9月23日(土)・24日(日) ※雨天決行

会場 所沢市民文化センター、所沢航空記念公園(野外ステージ、彩翔亭ほか)

「空飛ぶ音楽祭実行委員会」が現在、開催に向けて鋭意企画調整中です。

かかみがはら

野外フェスの先輩・岐阜県各務原市を視察

～「空飛ぶ音楽祭」の成功を目指し、先進自治体にお話を伺いました～

夏フェス「OUR FAVORITE THINGS」(以下、OFT)を視察しました。OFTは、主に愛知県に住む若者をターゲットに、各務原市への移住・定住を促進。地方創生事業に位置付けられ、同市のシティープロモーションの中核を担うイベントです。昨年は約1,500枚のチケットが即ソールドアウトするなど大盛況！市民協働を促す各務原市長の理念の下、まちの魅力を詰め込んだ当日パンフレットをボランティアと共に作成するなど、シビックプライドの醸成にも一役買っています。

会場の河川環境楽園は、家族連れで賑わう各務原市民の憩いの場。「空飛ぶ音楽祭」の会場の航空公園も、緑あふれる所沢市民の憩いの場。音楽フェスに参加しない人でも、リラックスして過ごせる2日間になること間違いなし。乞うご期待！

※今年のOFTは7月9日(日)開催！ウェブサイト <http://www.ourfavoritethings.jp/>

EdiToR's meMo

以前本欄に書いた佐村河内事件。当事者の新垣隆氏はその後、作曲・演奏活動を再開、改めてその才能に驚嘆の声が上がり、自著「音楽という真実」で当時を語る。一方の佐村河内氏はその後を描いた映画「フェイク」に出演、ここでミュージズでも上映される。果たして彼は真実を語るのか…。